



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL https://www.keywere.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,864	5.0	△70	—	△49	—	△58	—
2019年3月期第1四半期	3,680	15.0	△95	—	△68	—	△88	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △57百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△6.93	—
2019年3月期第1四半期	△10.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,891	6,137	69.0
2019年3月期	9,774	6,296	64.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,137百万円 2019年3月期 6,296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	2.5	400	24.9	420	5.2	330	△4.1	38.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	9,110,000株	2019年3月期	9,110,000株
2020年3月期1Q	607,643株	2019年3月期	607,643株
2020年3月期1Q	8,502,357株	2019年3月期1Q	8,502,357株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調にあったものの、米中貿易摩擦の激化に伴う中国経済の減速の影響により、輸出や生産に弱さが見られるなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年7月に経済産業省が発表した2019年5月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比4.2%増と8ヵ月連続で前年を上回りました。また、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比5.1%増と9ヵ月連続で前年を上回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、「基盤事業<sup>(※)</sup>の拡大と収益向上」「新規事業の創出・育成」「社員の働きがい向上」を主要方針として取り組みを進めました。基盤事業においては、需要の継続が見込まれる大型請負案件の獲得に努めたほか、顧客の需要に応える体制を構築すべく、戦略的に人材リソースの確保を推進しました。新規事業においては、農業ICT、医療・ヘルスケア領域での取り組みを継続するとともに、働き方改革実現に向けたITシステム構築やRPA導入の提案活動に積極的に取り組みました。また、社員の働きがい高めるため、社員一人ひとりが能力を発揮し、安心して働くことができるよう人事制度や福利厚生制度の改定を行うなど、諸制度や職場環境の整備を進めました。

※ 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を基盤事業と位置付けております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は4,250百万円(前年同期比100百万円増、2.4%増)、売上高は3,864百万円(同184百万円増、5.0%増)、営業損失は70百万円(前年同期は95百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は58百万円(前年同期は88百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は2,847百万円(前年同期比91百万円増、3.3%増)、売上高は2,508百万円(同73百万円減、2.8%減)、営業損失は93百万円(前年同期は54百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、官庁系での案件獲得に加え、運輸系での新規受注などにより前期比で増加いたしました。売上高につきましては、通信系において大型案件の売上計上があった前期に比べ減少いたしました。損益面につきましては、売上高の減少に加え、一部不採算プロジェクトが発生したことなどが影響し、損失計上となりました。

#### ② SI事業

受注高は1,077百万円(前年同期比23百万円減、2.2%減)、売上高は980百万円(同237百万円増、31.9%増)、営業利益は46百万円(同44百万円増)となりました。

受注高につきましては、ERP系において見込んでいた新規案件の獲得が進まなかったことなどにより、前期比で減少いたしました。売上高につきましては、前期に受注したERP系の大型案件の売上が計上されたことなどにより、前期比で大幅に増加いたしました。営業利益につきましては、売上高の増加に伴い、前期比で増加となりました。

#### ③ その他事業

受注高は325百万円(前年同期比33百万円増、11.4%増)、売上高は375百万円(同19百万円増、5.6%増)、営業損失は4百万円(前年同期は10百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、販売系、サポートサービス系が堅調に推移したことなどにより、前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い、前期比で損失を縮小させることができました。

なお、期初に行った組織変更に伴い、前連結会計年度まで「その他事業」に所属しておりましたEC/Web系業務およびコンサルティング業務の一部(コンサルティング業務から派生した開発・運用工程部分)を、それぞれ「システム開発事業」「SI事業」へ移管いたしました。これに伴い前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替えを行っており、前年同期比につきましては組替え後の数値によっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,632百万円(前連結会計年度末比799百万円減、12.4%減)となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,258百万円(前連結会計年度末比83百万円減、2.5%減)となりました。主な変動要因は、ソフトウェアの減少、投資有価証券の減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,366百万円(前連結会計年度末比683百万円減、22.4%減)となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、387百万円(前連結会計年度末比41百万円減、9.6%減)となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、6,137百万円(前連結会計年度末比159百万円減、2.5%減)となりました。主な変動要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2019年4月26日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として売上が第4四半期に集中する傾向があるため、第1四半期連結累計期間の売上高および損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,174,139	1,745,981
受取手形及び売掛金	4,959,083	3,298,766
商品及び製品	40,430	38,897
仕掛品	134,158	430,935
その他	128,401	120,794
貸倒引当金	△3,894	△2,811
流動資産合計	6,432,319	5,632,564
固定資産		
有形固定資産	99,616	106,953
無形固定資産		
のれん	191,782	186,455
その他	201,818	168,242
無形固定資産合計	393,601	354,697
投資その他の資産		
投資有価証券	2,618,514	2,593,750
その他	230,939	203,312
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	2,849,409	2,797,017
固定資産合計	3,342,628	3,258,668
資産合計	9,774,948	8,891,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,624	738,593
短期借入金	300,000	-
1年内返済予定の長期借入金	226,664	226,664
未払法人税等	60,404	14,225
賞与引当金	706,496	279,315
受注損失引当金	56,607	32,236
その他	822,674	1,075,261
流動負債合計	3,049,471	2,366,297
固定負債		
長期借入金	320,008	278,342
資産除去債務	108,883	109,383
固定負債合計	428,891	387,725
負債合計	3,478,362	2,754,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	4,201,386	4,040,399
自己株式	△159,243	△159,243
株主資本合計	6,286,617	6,125,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,249	22,783
退職給付に係る調整累計額	△12,281	△11,203
その他の包括利益累計額合計	9,967	11,579
純資産合計	6,296,585	6,137,209
負債純資産合計	9,774,948	8,891,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,680,787	3,864,916
売上原価	3,164,577	3,293,468
売上総利益	516,210	571,447
販売費及び一般管理費	612,034	642,121
営業損失(△)	△95,824	△70,674
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	1,440	1,433
保険解約返戻金	-	7,118
持分法による投資利益	21,100	16,110
その他	9,175	2,170
営業外収益合計	31,717	26,837
営業外費用		
支払利息	1,562	1,329
支払手数料	3,109	3,005
その他	110	1,345
営業外費用合計	4,781	5,681
経常損失(△)	△68,887	△49,518
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,887	△49,518
法人税等	20,110	9,440
四半期純損失(△)	△88,998	△58,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,998	△58,958



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△88,998	△58,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,456	△581
持分法適用会社に対する持分相当額	2,114	2,193
その他の包括利益合計	657	1,611
四半期包括利益	△88,341	△57,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,341	△57,347
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,581,667	743,416	355,703	3,680,787	—	3,680,787
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	128,985	180	87,810	216,976	△216,976	—
計	2,710,653	743,596	443,514	3,897,763	△216,976	3,680,787
セグメント利益 又は損失(△)	△54,932	1,846	△10,801	△63,887	△31,937	△95,824

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,937千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,508,489	980,730	375,696	3,864,916	—	3,864,916
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	125,386	945	80,490	206,821	△206,821	—
計	2,633,875	981,675	456,186	4,071,737	△206,821	3,864,916
セグメント利益 又は損失(△)	△93,973	46,298	△4,541	△52,216	△18,458	△70,674

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,458千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(報告セグメント変更等に関する事項)

期初に行った組織変更に伴い、前連結会計年度まで「その他事業」に所屬しておりましたE C / W e b系業務およびコンサルティング業務の一部(コンサルティング業務から派生した開発・運用工程部分)を、それぞれ「システム開発事業」「S I 事業」へ移管いたしました。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。